

# 薬の伝言板～脳梗塞～



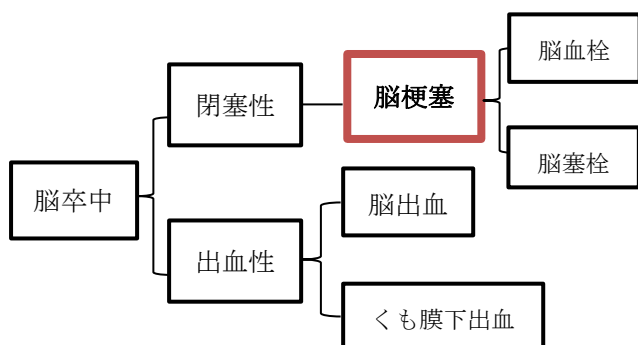
No. 251 2018年10月  
丸子中央病院 薬局

日本の死亡原因第4位が脳血管の病気であり、その中で多いのが『脳梗塞』です。脳梗塞を発症すると、多くの場合麻痺や後遺症が残ってしまいます。そのため予防と治療が重要です。今回は『脳梗塞』についてお話したいと思います。

## <脳梗塞の分類>



脳梗塞とは、脳で血液の流れが止まってしまい、血液から酸素や栄養を得られないため、脳細胞が死んでしまう病気です。



**●脳血栓症**

血栓 アテローム

血管の閉塞や狭窄により詰まる

**●脳塞栓症**

血栓

心臓からの血栓が血流によって脳の血管で詰まる

脳血栓は「アテローム血栓性脳梗塞」「ラクナ梗塞」

脳塞栓は「心原性脳梗塞」に分類されます。

	<発症部位>	<特徴>	<原因因子>
アテローム 血栓性脳梗塞	脳の太い血管が詰まる	安静時、睡眠時に起こりやすく 意識障害や運動麻痺は 段階的に進行する	高血圧 糖尿病 喫煙 脂質異常症
ラクナ梗塞	脳の細い血管が詰まる	ラクナ梗塞の2/3は無症状 意識障害は見られない	高血圧 糖尿病
心原性 脳梗塞	心臓からの血栓が 脳の血管に詰まる	日中の活動時に突発的に起こる ことが多く、急速的に進行する。	心房細動 弁膜症

## <薬物治療>

脳梗塞は時間が経過するほど、範囲が大きくなるため早い治療が有意です。発症後すぐは注射による治療を行い、その後再発防止のため抗凝固薬や抗血小板薬の経口投与が続きます。




分類	薬品名	作用
血栓溶解薬	アルテプラゼ(注射)	血管にできた血栓を溶かし、血流を改善する。
	アルガトロバン(注射)	
抗凝固薬	ヘパリン(注射)	血栓が形成されないよう血液をさらさらにする。
	ワルファリン(経口)	
	ダビガトラン(経口)	
	リバーロキサバン(経口)	
抗血小板薬	オグザレル(注射)	血小板がもつ止血の働きを妨げることで、血液が固まるのを阻止し、血栓を作られにくくする。
	アスピリン(経口)	
	クロピドグレル(経口)	
	シロスタゾール(経口)	
脳保護薬	エダラボン(注射)	脳細胞を障害するフリーラジカルを消去し、脳を守る。

※脳梗塞の再発予防のため脂質異常症や高血圧の治療薬も一緒に処方されることもあります。

## <早期発見と予防対策>

- ✓ 高血圧症の改善

脳梗塞の**最大の危険因子**です。 降圧目標として右表が推奨されています。

患者	降圧目標
高齢者	140/90mmHg 未満
若年・中年者	130/85mmHg 未満
糖尿病や腎障害合併例	130/80mmHg 未満

- ✓ 脳ドックのすすめ

健康診断の1つであり、症状が出ていない脳の病気を発見することができるため、早期発見につながります。特に、高血圧や生活習慣病をお持ちの方は2年に1回の脳ドックがすすめられています。

脳梗塞は高齢者が発症する病気と思っている方が多いのではないのでしょうか？  
しかし近年、**30代~50代**の比較的若い層に脳梗塞を発症する割合が増えてきています。  
食生活や運動に気を使い、予防を心がけましょう。

